

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》  
**【数値目標】**

No.	項目	単位	策定時点	現況値	目標値	2021(令和3)年度 目標値に対する 達成状況	評価 基準	評価	関係課
			現況値 2010 (平成22) 年度	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度				
10	森林蓄積量 <sup>(※1)</sup>	千m <sup>3</sup>	6,080 (2009(平成 21)年度)	6,574	7,000	53.7%	累積	C	生産流通課
11	自然遊歩道	箇所	7	9	9	100.0%	累積	A	環境保全課
12	グリーン・ツーリズム 登録団体数	団体	32	49	48	106.3%	累積	A	グリーンツー リズム推進課
13	市街化区域の緑地割合	%	7.4 (2008(平成 20)年度)	8.7	7.7	433.3%	累積	A	公園緑化課
14	エコファーマー <sup>(※2)</sup> の 認定件数	件	101	113	115	85.7%	累積	A	生産流通課

※1 森林蓄積量 = 森林を構成する立木の幹の部分の体積で、森林量の指標の一つ

※2 エコファーマー = 県知事が認定するもので、土づくり、化学肥料の使用低減、化学合成農薬の使用低減に一体的  
 に取り組む、環境にやさしい農業実践者

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します》

**【施策の実施状況】**

基本 目標	事務・事業名	事務・事業の概要	令和2年度実績	関係課
(1) 鹿児島島の多 様で豊かな自然を保全 します	生物多様性地域戦略推 進事業	平成26年3月に策定した生物多様 性地域戦略の進行管理を行うと ともに、生物多様性の保全等 に関する事業を行う。	○国際生物多様性の日(5月22日)を契機とした市公 共施設等と連携した生物多様性実感イベント等を開 催した。 ○市民活動団体等との協働による生物多様性保全活 動を推進した。 ○小学生を対象に生物多様性ワークショップを開催 した。 ○生物多様性自治体ネットワーク幹事会、総会へ出 席した。	環境保全課
	かごしま自然百選活用 事業	本市の自然の魅力を広く周知 し、生物多様性への市民の理解 を深めるため、かごしま自然百 選のガイドブックを配布すると ともに、新たに案内看板を設置 する。	○かごしま自然百選ガイドブックを配布した。 ○かごしま自然百選案内看板を設置した。 ○かごしま自然百選ポスターを作成及び掲示した。	環境保全課
	生物多様性学習推進事 業	本市の自然や生き物、暮らしと の関係など生物多様性について 分かりやすく学習できる小学生 向け教材を作成する。	○生物多様性WEB教材「かごしま生きものラボ」 及び副読本の周知広報、利用促進を行った。 ○生物多様性WEB教材の情報更新を行った。	環境保全課
	自然保護事業	自然公園法に基づく許可申請等 の受理及び県知事への送付業務	自然公園法に基づく許可申請の受理等を行った。	環境保全課
	自然保護事業	生態系に影響を及ぼすマング ースが喜入地域で発見されてい ることから、県が実施している調 査等への協力を行う。	県と連携し、マングースの情報収集や広報啓発を 行った。	環境保全課
	国立公園桜島地区美化 協会負担金	桜島地区の自然環境を清潔に保 持するため、美化協会へ負担金 の支出を行う。	桜島の袴腰地区の美化清掃を実施した。	観光振興課
	造林事業	森林のもつ水源かん養機能な どの高度発揮を図るため、森林組 合等が行う間伐に要する経費に 対し助成する。	間伐及び植林・下刈実施経費に対し助成した。 〔間伐面積〕13.94ha 〔植林面積〕14.86ha 〔下刈面積〕93.63ha 〔補助金額〕4,866千円	生産流通課
	万之瀬川流域森林造成 対策事業	万之瀬川流域森林において、水 源かん養機能の高度発揮を図る ため、森林組合等が行う間伐等 に要する経費に対し助成する。	万之瀬川流域における植林・下刈実施経費に対し助 成した。 〔造林面積〕間伐 9.41ha 植林 0ha 下刈 11.54ha 〔補助金額〕917千円	生産流通課
市有林・分収林の保育 作業	市有林・分収林において、水源 かん養機能などの高度発揮を図 るため、間伐等を行なう。	市有林において間伐を行った。 〔間伐面積〕10.6ha 下刈 0ha 〔委託料〕9,831千円	生産流通課	

《基本方針 3 恵み豊かななごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(1) 鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します》

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	令和2年度実績	関係課
鹿児島島の多様で豊かな自然を保全します	市民と協働の森林づくり事業	企業やボランティア団体が実施する森林活動に対して支援を行い、市民活動を中心に森林整備を図る。	①市民ボランティア団体や企業が実施する森林整備活動に対する支援の実施 〔実施期間〕 2/14-3/8 〔実施場所〕 四元生産森林組合林 〔参加人数〕 27人 〔内 容〕 植林等  ②森林体験イベントの実施 〔実施日〕 8/10 〔実施場所〕 市有林(千年の森) 〔参加人数〕 13組52人 〔内 容〕 森林教室、木工体験 ほか	生産流通課
	特別天然記念物・北限のメヒルギ再生整備活用事業	国指定特別天然記念物「喜入のリュウキュウコウガイ産地」の保存管理	前年度に引き続き、メヒルギの再生を図るため、生息地の環境改善に係る各種取組を進めた。 ・海水導水 ・水質、底質検査 ・土砂、芝の除去 ・土壌穿孔 ・検討委員会開催(2回) ・文化庁調査官招聘 等	文化財課

《基本方針 3 恵み豊かななごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》

《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	令和2年度実績	関係課
自然とふれあう場や機会を確保します	自然遊歩道の利用促進	自然遊歩道の維持管理及び広報啓発	八重山自然遊歩道を新たに指定するとともに、自然遊歩道の維持管理及び広報啓発を実施した。	環境保全課
	自然保護事業	赤水採石場跡地の活用	赤水採石場跡地の活用として植樹を行った。	環境保全課
	名水サミット関係経費	水環境保全の推進と水質保全意識の高揚を図るため、前年度開催地として「名水サミット」に参加する。	名水サミット in さいじょうは、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 (全国水環境保全市町村連絡協議会幹事会兼実行委員会は書面開催)	環境保全課
	[R2新] 水辺環境魅力再発見事業	水環境保全意識の向上を図る。	○水辺環境ガイドブックを作成し配布した。 ・2,000部 ○かごしま水環境ラボ(研究室)～水の自由研究～を開催した。 〔開催日〕8/7 〔参加者数〕42人	環境保全課
	かごしま環境未来館管理運営事業 (甲突川リバーフェスティバルの開催)	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催することにより、川をはじめとする環境問題への関心を広く喚起する。	甲突川を活用した参加体験型のイベントを開催した。 ・甲突川リバーフェスティバル 〔開催日〕7/18・19 〔参加者数〕1,800人	環境政策課
	桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	桜島・錦江湾ジオパークの世界認定に向け、またジオパーク活動の推進を図るため、観光・経済団体や地域・まちづくり団体など様々な団体と協働・連携しながら推進を図る。	○世界ジオパーク認定に向けた取組 ○ジオパーク活動の展開 ・ジオツアー(2回)、ジオ講座等(13回)などの開催 ・副読本の作成 ・スケッチコンクールの開催 ・スタンプラリーの開催 ・ジオパークサイト等保全会議の設置及び協議 など ○情報発信 ・PR映像、ホームページの活用 など	世界遺産・ジオパーク推進課

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築) 》

《基本目標(2) 自然とふれあう場や機会を確保します》

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	令和2年度実績	関係課
(2) 自然とふれあう場や機会を確保します	グリーン・ツーリズム推進事業	都市と農村の交流促進及び農村地域の活性化を図る。	都市と農村の交流促進及び農村地域の活性化を図るため、グリーン・ツーリズムの推進に取り組んだ。 ○グリーン・ツーリズム活動団体等の登録・支援 〔登録団体数〕49団体 〔補助〕2団体 ○農家民宿の開業促進 ○農作業体験学習の実施 〔実施地域〕8地域 ○棚田の保全活動への助成・支援 〔補助〕30万円×1団体 ○グリーン・ツーリズム宿泊体験ツアーの実施 ○漁業体験イベントの実施	グリーンツーリズム推進課
	[R2拡] 観光農業公園交流体験事業	農業・自然・調理・環境の各種体験プログラムを実施するとともに、来園者同士の交流を促進する。	○園内外の自然を活用した自然体験プログラムのほか各種体験プログラムを実施した。 ○グリーンファームサポーター制度の活動を継続し、イベント等の充実や来園者同士の交流促進を図った。 ○バイオディーゼル燃料(BDF)が使用可能なストーブを追加導入し、冬期農産物の生産安定を図った。 ○季節ごとの開催するイベントにおけるアトラクション等の充実を図った。	グリーンツーリズム推進課
	市民参加型農業支援事業	消費者に農作業体験を通じて、農業と農村への理解と認識を深めてもらうとともに、地域の活性化を図る。	○市民農園管理組合への助成 (6農園・442区画) ○市民農園を開設する農家への支援 (4農園・93区画)	農政総務課
	市民農園の管理運営	市民への農園の貸出	〔貸出区画数〕820区画 ・家族用区画：766区画 ・団体用区画：44区画 ・車いす用区画：10区画	都市農業センター
	施設内の収穫体験等	食の森など施設内での収穫体験や散策	食の森等来訪者：25,757人	都市農業センター
	四季の花園の管理	来場者の鑑賞のため、四季の花園での季節の花の植栽、管理	四季の花園来訪者：47,031人	都市農業センター
	水生植物園の管理	来場者の鑑賞のため、水生植物園での植栽、管理	水生植物園来訪者：2,489人	都市農業センター
	自然観察会の開催	①ホタルを見るタペの開催(かごしま健康の森公園の指定管理者である(公財)鹿児島市公園公社が実施) ②ホタルを見るタペ(R2)の開催(ふれあいスポーツランドの指定管理者である南国殖産株式会社が実施)	①〔開催予定日〕5/16・5/17 ②〔開催予定日〕5/16・5/17 ※①②とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	公園緑化課
	海水浴場管理運営	磯海水浴場、生見海水浴場、西道海水浴場、レインボービーチの開設	〔開設期間〕 令和2年度は開設中止	スポーツ課
	各学校における農業体験学習の実施	総合的な学習の時間等で、米や野菜、果物栽培等を通じた食と農を考える体験学習を実施する。	総合的な学習の時間等で、体験を伴った農業体験学習等を学校の実態に応じて取り入れるよう学校訪問や研修会等で指導した。	学校教育課
	青少年ふれあい交流・体験活動	小学校4～6年生を対象に、少年自然の家、本名川等で宿泊を伴う体験活動を実施する。	○少年自然の家で体験活動を実施する。 ※新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止	青少年課
	親子でキャンプに挑戦	1泊2日のキャンプ活動を通じて、家族のふれあいや絆を深める機会とする。	〔開催日〕9/19～20(1泊2日) 〔参加者数〕14家族 50人	少年自然の家
	ワイルドキッズ林間学舎 冬の自立キャンプ	宿泊体験等を通して、自立する心を育み、仲間と協力することや、お互いを思いやることの大切さを体験する。	○ワイルドキッズ林間学舎(小学1・2・3年生) 〔開催日〕10/24～25(1泊2日) 〔参加者数〕76人 ○冬のアウトドアチャレンジ(小学4年～中学2年) 〔開催日〕2/20～21(1泊2日) 〔参加者数〕32人	少年自然の家

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》  
 《基本目標(3) 生態系に配慮したまちづくりを進めます》

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	令和2年度実績	関係課
(3) 生き生きとしたまちづくり系を進めたい	準用河川の改修等	災害に強いまちづくりを進めるとともに、環境に配慮した河川の整備を行う。	治水対策を講ずるにあたり、環境型ブロックを設置するなど、環境に配慮した工法の採用に努めた。 (吉水川・牟礼谷川・小山田川・花倉川)	河川港湾課 谷山建設課 道路建設課
	城山公園自然の森再生事業	市街地の中心に位置する城山公園では、降雨による斜面崩壊や外来種の侵入による自然林の減少など、植物を巡る環境に変化が生じていることから、指定文化財の有する普遍的価値を尊重しながら、貴重な緑を次世代へ継承する。	モウソウチクやハヤトウリ等の外来種駆除を行った。	公園緑化課

《基本方針 3 恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち (自然共生社会の構築)》  
 《基本目標(4) 環境に配慮した農林水産業を進めます》

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	令和2年度実績	関係課
(4) 環境に配慮した農林水産業を進めたい	環境保全型農業推進事業	防除薬剤の使用軽減に努め、環境に配慮した農業を進めるため、防除資材の導入経費などに対し助成する。	○減農薬栽培等推進事業：防虫資材等の導入に対する助成 〔補助金〕3,700千円 ○環境保全型農業直接支援事業：環境保全効果の高い営農活動を行う農業者に対する直接支援 〔交付金〕2,497千円	生産流通課
	環境保全型畜産推進事業	畜産に起因する環境問題等に対処し、都市近郊における畜産経営の安定を図るため、家畜ふん尿処理施設(堆肥舎)等の整備に対し助成する。	家畜ふん尿処理施設等の整備を進める。 〔整備数〕 ・堆肥舎：1棟 ・堆肥処理機械：1台 ・堆肥活用機械：1台 〔補助金〕 7,445千円	生産流通課
	放養量、給餌量の適正化の指導・啓発	県の魚類養殖指導指針に基づいて、適正化が図られるよう指導を行う。	県の魚類養殖指導指針に基づいて、適正化が図られるよう指導した。	生産流通課
	農林水産物PR事業	各種イベント等により、市民に市内産の特産農林水産物への理解を深めてもらい、地産地消の推進を図る。 (実施主体：市農産物等流通促進協議会)	・市内産農産物旬のキャンペーン：3回 ・食の産地交流会：3回 ・暮れの市：1回 ・茶消費拡大対策：2回	生産流通課
	遊休農地活用推進事業	遊休農地の現状把握に努めるとともに、遊休農地の発生防止や解消に努める。	○情報の収集・発信及び解消策等の検討 ・遊休農地バンクの運営等 ○遊休農地の再生利用 ・よみがえれ農地事業 (遊休農地の開墾経費助成0.37ha) ○遊休農地の発生防止 ・農地流動化対策事業 (農地の貸借に対する助成23.9ha) ・農地中間管理機構集積協力金交付事業	農政総務課